

町田市スポーツ推進計画



町 田 市

はじめに



町田市では、2009年に市として初めてのスポーツに関する計画「町田市スポーツ振興計画」を策定いたしました。この計画における取り組みのひとつであった「スポーツ祭東京 2013」は、市内の競技会場に延べ6万7千人の方が訪れ、大成功の内に幕を下ろしました。この成功の影には約1,400人ももの市民ボランティアからなる「まちだサポーターズ」の活躍があり、この数は都内市区町村の中でも群を抜くものとなっております。その内約半数の方には今後も引き続きスポーツ活動に携わっていただけることになりました。2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにおきまして町田市はキャンプ地の招致を目指しており、招致実現のために、より多くの市民の皆様と共に市内の機運を高めていきたいと考えております。

このような中、町田市ではこの度、今までの「町田市スポーツ振興計画」を、スポーツ基本法に基づき「町田市スポーツ推進計画」と名を改め、策定いたしました。この町田市スポーツ推進計画では、振興計画の基本理念を継承し、「スポーツで人とまちが一つになる」を目指すべき将来の姿として設定いたしました。「市民スポーツの普及・推進」「トップスポーツ支援」「スポーツ環境の整備」という3つのスポーツ推進戦略に基づき施策を展開することにより、市民の皆様が「する人」「観る人」「支える（育てる）人」という3つの立場からスポーツを楽しみ、地域でつながりを持てる社会を実現いたします。市民の皆様には、より一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました町田市スポーツ推進審議会委員の皆様、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様に、深く感謝申し上げます。

2014年 2月

町田市長 石阪 丈一

目 次

第1章 スポーツ推進計画策定にあたって.....	1
1. 計画策定の主旨	3
2. 計画の全体像.....	4
3. 計画策定の背景	5
(1) 社会状況の変化と課題	5
(2) 国の動向	7
(3) 東京都の動向.....	7
(4) 町田市のスポーツ施策等に関する動向.....	8
4. 計画の位置づけ	9
5. 本計画における「スポーツ」の範囲	9
6. 計画の期間.....	10
第2章 計画の基本的な考え方	11
1. スポーツ推進の基本理念	11
2. スポーツ推進の全体像.....	13
3. 達成目標の目安（数値目標）	14
第3章 スポーツ推進戦略と施策	17
1. スポーツ推進の方針.....	17
(1) ライフステージ別スポーツの推進	19
(2) ホームタウンチームの活性化とまちづくりとの連動.....	19
(3) 役割分担の明確化.....	19
(4) モデル事業の実施.....	19
2. スポーツ推進施策の展開	20
戦略1 市民スポーツの普及・推進	21
施策1 地域におけるスポーツの推進	21
(1) 子どものスポーツ推進	21
(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進.....	23
(3) 高齢者のスポーツ推進	23
(4) 障がいのある人のスポーツ推進.....	24

施策2 「市民スポーツ」の環境づくり	25
(1) 地域スポーツの場の整備	25
(2) 地域スポーツの仕組みづくり	25
(3) 既存スポーツ施設の有効活用	26
戦略2 トップスポーツ支援	27
施策3 ホームタウンチームへの支援と協働	27
(1) 交流の活性化	27
(2) 運営支援	28
(3) 広報・告知活動の充実	28
施策4 「トップスポーツ」の環境づくり	30
(1) 競技スポーツの場の整備	30
(2) 競技スポーツの連携強化	30
(3) 障がい者スポーツの活性化	31
(4) 顕彰制度・奨励制度等の活性化	31
戦略3 スポーツ環境の整備	33
施策5 スポーツのまちづくり	33
(1) スポーツ・ツーリズムの推進	33
(2) 公園等におけるスポーツ施設の整備	34
(3) 広域スポーツのブランド化	34
(4) 公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化	35
(5) スポーツ情報発信力の強化	35
第4章 計画の推進にあたって	36
1. 計画の推進と進行管理	39
2. 計画推進のための財源確保	39
3. 町田市スポーツ推進審議会への報告	39
【資料編】	
資料1 町田市スポーツ推進計画の策定体制	43
資料2 町田市スポーツ推進審議会委員名簿	44
資料3 町田市スポーツ推進計画策定調整会議	45
資料4 町田市スポーツ推進計画 策定経過	46
資料5 町田市スポーツ推進条例	47

第1章 スポーツ推進計画策定にあたって

1. 計画策定の主旨

スポーツの重要性

スポーツは、人々に大きな感動や楽しみをもたらす世界共通の文化であるとともに、健康長寿、人格の形成、地域の活性化など、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠かすことのできない存在です。

これまでの町田市 取り組みの概要

これまで町田市では、「町田市スポーツ振興計画」（2009年12月策定、以下「振興計画」）に基づき、「スポーツに親しめる環境の創出」、「地域のつながりと健康寿命の向上」、「魅力的で活力あるまちの創出」を目指す姿とし、スポーツ振興を進めてきました。「する」「みる」「支える」の3つの場面で施策を展開することにより、目指す姿の実現を図りました。

スポーツ推進計画 策定の主旨

「町田市スポーツ推進計画」（以下「本計画」）は、スポーツ基本法及び2013年3月に制定した「町田市スポーツ推進条例」に示される理念に基づき、市や市民等の役割を具体的に示すとともに、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定します。

2. 計画の全体像

第1章 スポーツ推進計画策定にあたって

本計画の策定にあたって、その背景や社会環境の変化を整理し、計画策定に関する基本的な考え方や方向性を示しています。

第2章 計画の基本的な考え方

町田市の今後のスポーツ推進において目指す将来の姿及び町田市スポーツ推進条例に基づく基本理念を示します。また、本計画期間中の目標を示します。

[基本理念]

- [1] スポーツ環境の整備及び魅力ある地域社会の形成
- [2] スポーツを通じた健康の保持及び増進に関する知識の向上
- [3] 市、市民等、ホームタウンチーム及びスポーツ関連団体による相互の信頼の下の連携、協力

将来の姿

スポーツで人とまちが一つになる

第3章 スポーツ推進戦略と施策

第2章で示したスポーツ推進における将来の姿及び基本理念の実現に向け、3つの戦略を定め、現状と課題を踏まえて、具体的な推進施策を示します。

戦略1. 市民スポーツの普及・推進

戦略2. トップスポーツ支援

戦略3. スポーツ環境の整備

第4章 計画の推進にあたって

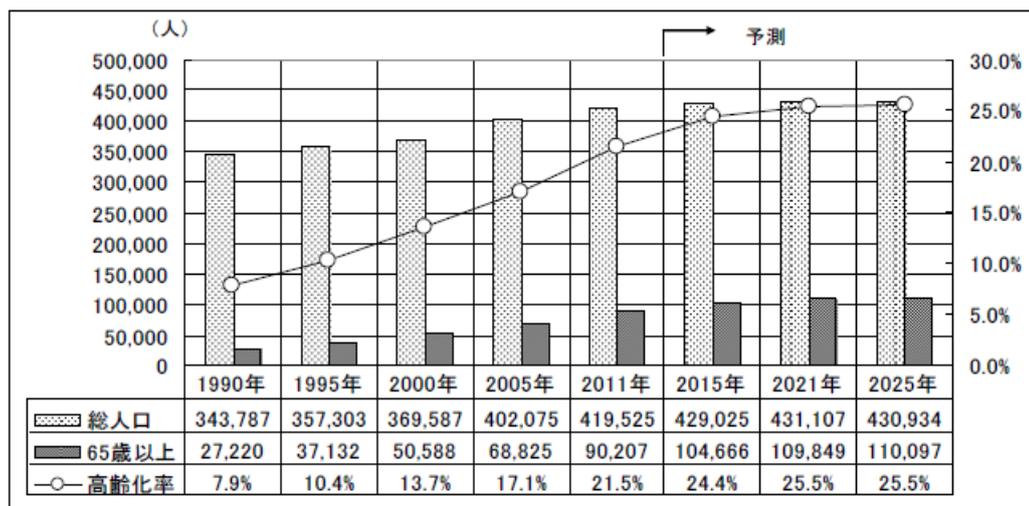
本計画を推進するための体制、財源確保及び報告・意見聴取の方向性を示します。

3. 計画策定の背景

(1) 社会状況の変化と課題

ライフスタイルの多様化や少子・高齢化の進展など、社会環境が大きく変化する中で、市民との協働の推進、地域コミュニティの再構築、ノーマライゼーションの推進などの取り組みが求められています。

図表1-1 町田市における高齢化の推移と予測



出典：町田市高齢者福祉計画

昭和60年頃から子どもの体力・運動能力が低下傾向にあるとともに、自分の身体をコントロールする能力の低下も指摘されています。子どもが運動不足になっている直接的な原因として、①学校外の学習活動や室内遊び時間の増加による、外遊びやスポーツ活動時間の減少、②空き地や生活道路といった子ども達の手軽な遊び場の減少、③少子化や、学校外の学習活動などによる仲間の減少が挙げられています。

図表1-2 スポーツや運動の実施割合(%)

	男子		女子	
	親の世代	今の子ども達	親の世代	今の子ども達
週3日以上、運動やスポーツを実施する子どもの割合	63.2	62.6(↓0.6)	56.1	37.1(↓19.0)

※学校での体育の授業を除く

※親世代は昭和56年度の11歳、今の子ども達は平成23年度の11歳

出典：公益財団法人日本レクリエーション協会ホームページ

現在の子どもの身長及び基礎的運動能力の測定結果をその親の世代である30年前と比較すると、ほとんどのテスト項目において、子どもの世代が親の世代を下回る一方で、身長、体重など子どもの体格については逆に親の世代を上回っています。

図表1-3 身長・基礎的運動能力の比較

	男子		女子	
	親の世代	今の子ども達	親の世代	今の子ども達
身長(cm)	142.8	145.0(↑2.2)	145.0	146.7(↑1.7)
50m走(秒)	8.8	8.9(↓0.1)	9.0	9.2(↓0.2)
ソフトボール投げ(m)	34.8	29.7(↓4.1)	20.8	17.5(↓3.3)

※親世代は昭和56年度の11歳、今の子ども達は平成23年の11歳

出典:公益財団法人日本レクリエーション協会ホームページ

子どもの体力・運動能力が低下傾向にある中で、運動をする子どもとしない子どもの二極化も進んでいます。特に中学生の女子にその傾向が明らかになっています。

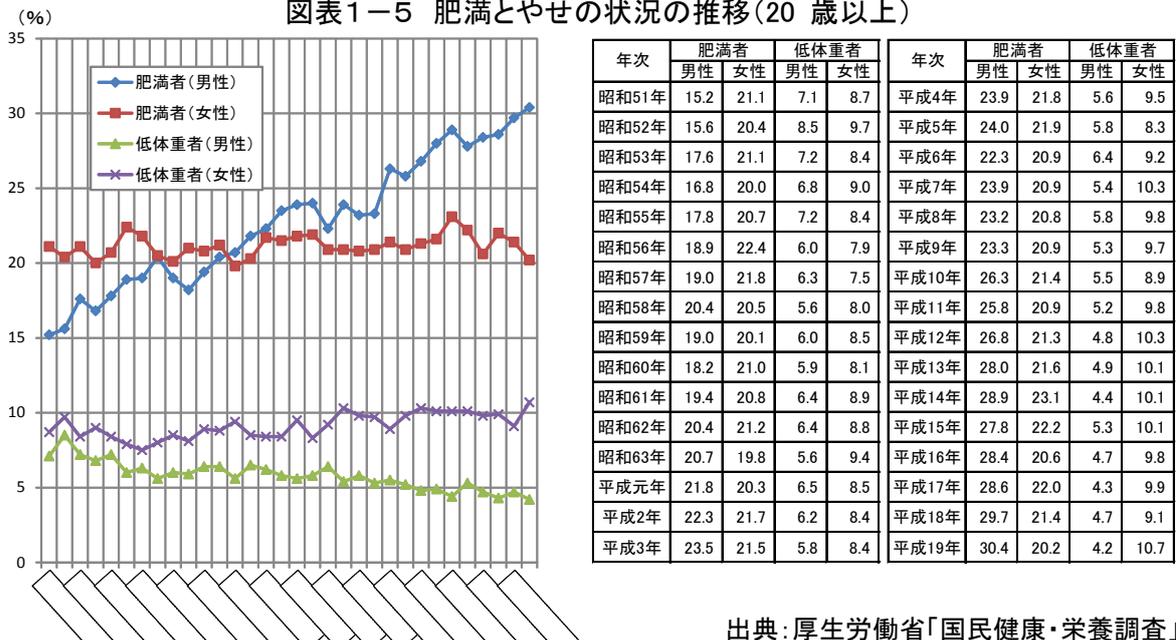
図表1-4 1週間の総運動時間の状況(学校の体育の授業を除く)

	小学5年生		中学2年生	
	男子	女子	男子	女子
1週間の総運動時間が60分以上の児童・生徒の割合	90.9%	79.0%	90.3%	70.1%
1週間の総運動時間が60分未満の児童・生徒の割合	9.1%	21.0%	9.7%	29.9%
総運動時間が60分未満の児童・生徒のうち 運動時間が0分の児童・生徒の割合	54.6%	47.6%	78.6%	80.2%

出典:文部科学省「平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

肥満などの生活習慣病の増加が深刻な社会問題となっています。20歳代を除いた全年齢層において肥満が増加しており、特に30~60歳代男性の約3割に肥満が見られます。

図表1-5 肥満とやせの状況の推移(20歳以上)



出典:厚生労働省「国民健康・栄養調査」

(2) 国の動向

スポーツ立国戦略

文部科学省では、今後のわが国のスポーツ政策の基本的な方向性を示す「スポーツ立国戦略」を2010年に策定しました。この戦略は、わが国の新たなスポーツ文化の確立を目指し、①人（する人、観る人、支える（育てる）人）の重視、②連携・協働の推進の2点を基本的な考え方として、今後10年間で実施すべき5つの重点戦略などを定めています。

スポーツ基本法

さらにこの戦略を基に、「スポーツ基本法」が2011年に制定され、スポーツに関する基本理念や、総合的かつ計画的に施策を推進するための基本となる事項を定めています。スポーツ基本法では、「スポーツ権」の確立、スポーツの多面的な役割（青少年の健全育成、地域社会の再生、社会・活力創造、国際的地位向上）が明確化されました。また、指導者等の養成、スポーツ施設の整備、学校施設の利用、スポーツ事故の防止といった基礎的条件の整備等のほか、スポーツ事業への支援やスポーツ行事の実施及び奨励等といった多様なスポーツの機会のための環境整備などが基本施策として示されています。

スポーツ基本計画

スポーツ基本法に基づき、文部科学省により「スポーツ基本計画」が2012年3月に策定されました。今後10年間の基本方針を定めるとともに現状と課題を踏まえた5年間に取り組む施策を体系化した計画であり、年齢や性別、障がい等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができるスポーツ環境を整備することとしています。

(3) 東京都の動向

東京都スポーツ推進計画

東京都は、「東京都スポーツ振興基本計画」（2008年7月策定）に基づき、様々な取り組みを進めてきました。2011年のスポーツ基本法の制定を受け、計画を改定して「東京都スポーツ推進計画」を2013年3月に策定しました。基本理念「スポーツの力をすべての人に」の下、誰もがいつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」の実現を目指しています。

東京都障害者スポーツ振興計画

行政計画としては初めてとなる「東京都障害者スポーツ振興計画」を2012年3月に策定、「東京都スポーツ推進計画」と相互に連携させて、障がい者スポーツと一般スポーツの施策を一体的に展開し、誰もがスポーツを楽しめる環境整備を進めることとしています。

東京オリンピックの開催

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、スポーツ機運の盛り上がりを見せています。東京都は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会を設立し、開催に向けた準備を進めて行くこととしています。

(4) 町田市のスポーツ施策等に関する動向

町田市のスポーツの状況

町田市は、町田市体育協会や傘下のスポーツ団体が主催する青少年の日大会、市民体育祭など、市民のスポーツの取り組みが盛んです。トップアスリートとしても、オリンピック代表選手のほか、世界レベルの選手も数多くいます。高校では全国レベルの野球部があり、大学でも世界レベルのクラブがあります。また、町田市には、FC 町田ゼルビア（サッカー）、ASV ペスカドーラ町田（フットサル）、キャノンイーグルス（ラグビー）といった町田市を本拠としてトップレベルで活躍するホームタウンチームが活動しています。

現行計画「町田市スポーツ振興計画」

2009年12月にスポーツ振興法（スポーツ基本法に全部改正）に基づき、2009年度を初年度として2018年度を最終年度とする10年間の「町田市スポーツ振興計画」を策定しました。中間年で計画や目標を見直すこととしています。地域スポーツの活性化やホームタウンチームの活躍に向けた支援策等の施策を実施しました。

町田市スポーツ推進条例

市では、スポーツ基本法の制定を受け、「町田市スポーツ推進条例」を2013年3月に制定しました。「町田市」としてのスポーツ推進に対する基本理念と市（行政）、市民等、スポーツ関連団体、ホームタウンチームそれぞれの役割と4者の連携協力ならびにスポーツ推進計画の策定を規定、スポーツ基本法第31条に基づき、「町田市スポーツ推進審議会」を設置することとしています。

町田市のスポーツ推進にかかる上位計画

上位計画としては、将来の町田市のあるべき姿を見据えた「まちだ未来づくりプラン」（2012年度～2021年度）があり、スポーツ施策は、「基本目標Ⅲ 賑わいのあるまちをつくる」に位置づけられています。また、「まちだ未来づくりプラン」の実現に向けて、具体的な事業と取り組みを総合的かつ計画的に進めるための5ヵ年計画

（2012年度～2016年度）である「町田市新5ヵ年計画」が策定されています。「町田市新5ヵ年計画」ではスポーツ施策は、「政策2 誰もがスポーツに親しめる環境をつくる」に位置づけられており、誰もがスポーツに親しむことができるよう、市民のスポーツ活動の振興や、トップレベルのスポーツを楽しめる環境づくりに取り組むこととしています。

4. 計画の位置づけ

本計画は、中間年で見直すこととした、「町田市スポーツ振興計画」の後期計画であり、スポーツ基本法及び町田市スポーツ推進条例に基づき、「町田市スポーツ振興計画（前期計画）」の取り組みとその課題を踏まえた、町田市の実情に即したスポーツの推進に関する計画です。スポーツ基本法に基づき名称を「町田市スポーツ振興計画」から「町田市スポーツ推進計画」としました。

本計画は、町田市の中・長期計画である「まちだ未来づくりプラン」及び「町田市新5ヵ年計画」をはじめとした関連する個別計画との連携・調整を図りながら、各計画に共通する今後の施策の方向性などを明らかにするスポーツに関する基本的な計画として位置づけます。

なお、本計画に定めた推進施策を着実に推進するため、具体的な事業を示すアクションプランを別に策定します。

5. 本計画における「スポーツ」の範囲

本計画では「スポーツ」の範囲を、勝敗や記録を競い、それを目的とした競技スポーツのみならず、ニュースポーツ¹やストレッチ、ウォーキング、筋力トレーニングなど、健康づくりやレクリエーションについても、自ら意思をもって身体を動かすものについてはスポーツに含むものとします。また、自らが身体を動かす「する人」のスポーツだけでなく、観戦などの「観る人」のスポーツや、スポーツを「支える人」のための、情報提供、スポーツ指導やボランティア活動もスポーツ活動の範囲としてとらえています。

施策の展開においては、スポーツを「市民スポーツ」と「トップスポーツ」に分けて考えます。前者は、記録や勝敗を争う競技スポーツから体を軽く動かすことや、気分転換のための軽い運動・体操・遊びまでを含むものであり、後者は、ホームタウンチームや世界レベル、全国レベルで活躍している選手または団体及びその活動を指します。

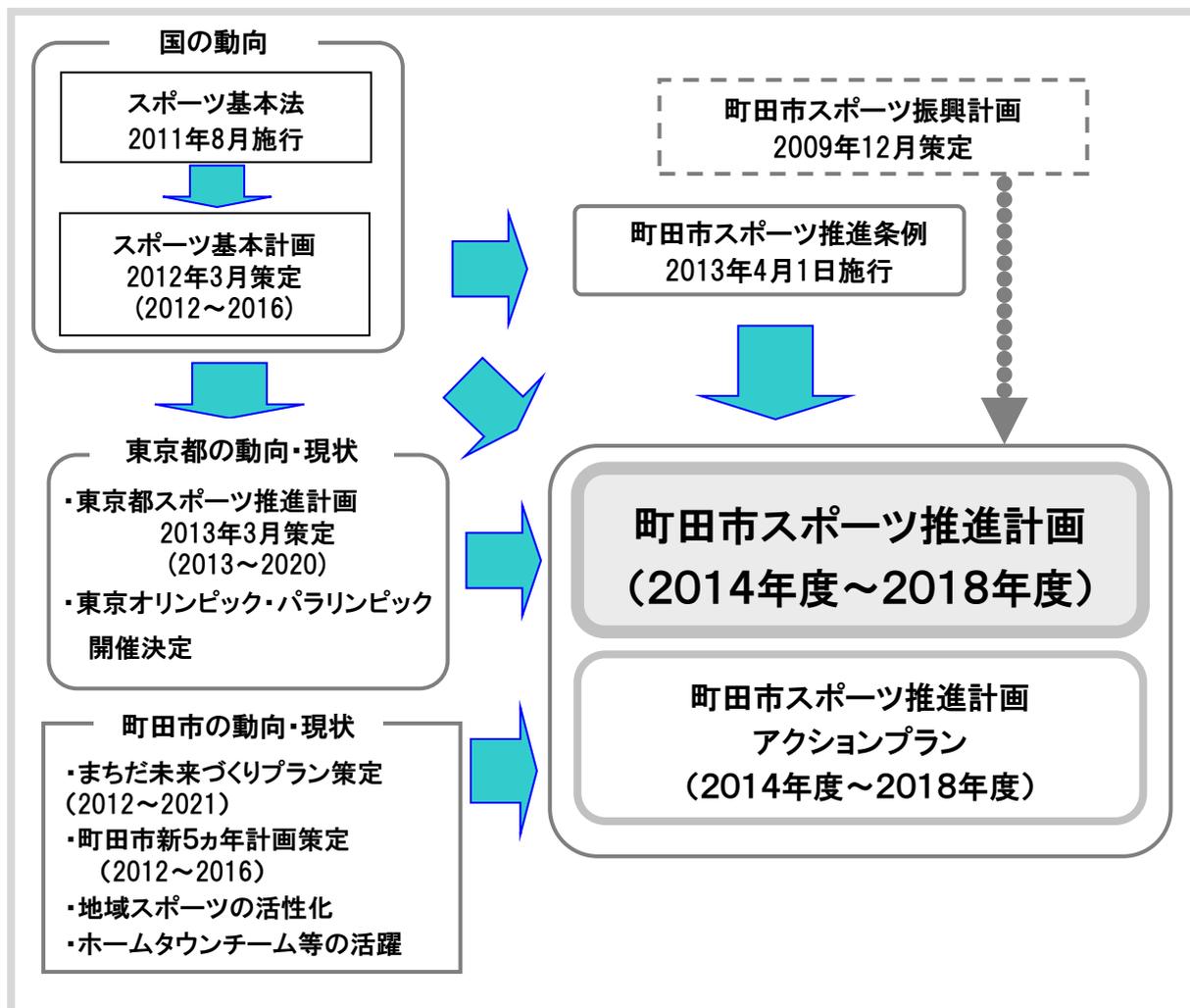


¹ ニュースポーツ: 技術やルールが比較的簡単で、だれでも、どこでも、いつでも容易に楽しめることを目的として、新しく考案や紹介がされたスポーツのこと。その数は数百種目あるとされています。

6. 計画の期間

計画期間は2014年度から2018年度までの5年間とします。

図表1-6 本計画を取り巻く動向・背景



第2章 計画の基本的な考え方

1. スポーツ推進の基本理念

町田市のスポーツ推進における基本理念は、「町田市スポーツ推進条例」に従い、次のとおりとします。

- [1] スポーツ環境の整備及び魅力ある地域社会の形成
- [2] スポーツを通じた健康の保持及び増進に関する知識の向上
- [3] 市、市民等、ホームタウンチーム及びスポーツ関連団体による相互の信頼の下の連携、協力

また、本計画で目指す将来の姿を、次のとおり定めます。

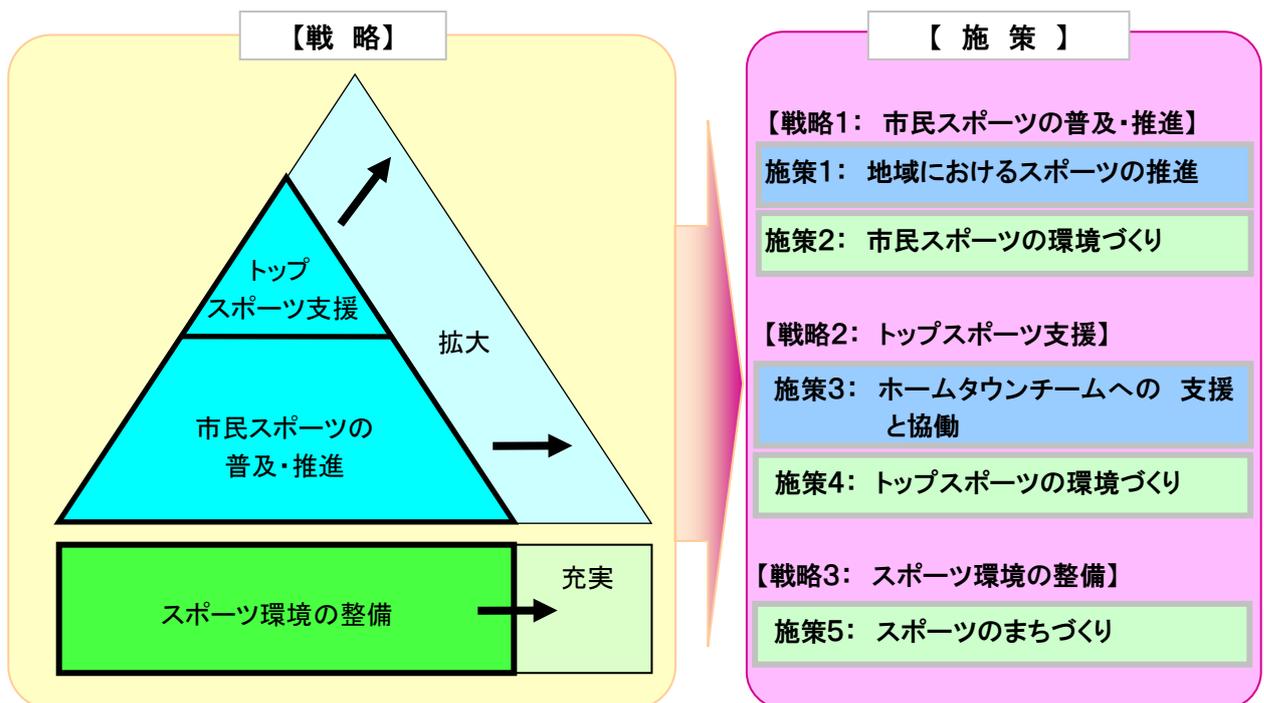
本計画で目指す“将来の姿”

スポーツで人とまちが一つになる

2. スポーツ推進の全体像

本計画では「市民スポーツの普及・推進」と「トップスポーツ支援」を両輪として、その土台となる「スポーツ環境の整備」とともに、これらの3つをスポーツ推進戦略として定め、スポーツの拡大を図ります。

図表2-1 スポーツ推進戦略と施策の関係



3. 達成目標の目安（数値目標）

達成目標1. 多くの市民がスポーツに日常的に取り組んでいます。

■指標：週1回以上スポーツを実施する市民の割合（スポーツ実施率）

2012年度 40.3% ⇒ 2018年度 60%

図表2-2 町田市のスポーツ実施率の推移

	2008	2009	2010	2011	2012	...	2018(目標)
スポーツ実施率	37.0%※1	36.8%※1	38.1%※1	—	40.3%※1	...	60%

※1 2012年度は、スポーツ祭東京 2013 に関する住民意識調査（週2回以上運動している人の割合）より。2010年度以前は町田市市民意識調査（市内・市外に関わらず、運動やスポーツを行う機会をもつことができた人の割合）。

※ 調査を実施する際には「自らが意思を持って体を動かすことはスポーツである」ということを明確にする。

【指標及び目標値の考え方】

国（文部科学省）はスポーツ基本計画において、成人のスポーツ実施率（週1回以上）を、できるかぎり早期に65%程度となることを目標としています。また、東京都は東京都スポーツ推進計画において、2020年のスポーツ実施率（週1回以上）の目標を70%としています。

町田市ではこのような状況及び町田市内の現状を踏まえ、振興計画で設定した「2018年度に60%」という目標を引き継ぎ、市民スポーツの普及・推進に取り組めます。

【関連施策】

- 施策1 地域におけるスポーツの推進
- 施策2 「市民スポーツ」の環境づくり
- 施策5 スポーツのまちづくり

達成目標2. 多くの地域スポーツクラブが活動しています。

■指標：地域スポーツクラブの総クラブ数

2012年度 4クラブ（1,372人） ⇒ 2018年度 20クラブ

※（ ）内は地域スポーツクラブの総会員数

※町田市における地域スポーツクラブとは、「町田市地域スポーツクラブ支援事業実施要綱」第2に掲げる要件を満たし、東京都広域スポーツセンターが運営する「東京都地域スポーツクラブサポートネット」に登録されている団体をいう。

【指標及び目標値の考え方】

町田市では現在4つの地域スポーツクラブが活動しています。振興計画においては2018年度の目標値を11クラブとしていましたが、中学校区に1つずつ程度を目安として、計20クラブの設立を目標とします。

【関連施策】

○施策2 「市民スポーツ」の環境づくり

《地域スポーツクラブとは》

子どもから高齢者まで（多世代）、さまざまなスポーツを愛好する人々が（多種目）、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されているスポーツクラブのこと。

こうした特長を持つ地域スポーツクラブは、単にスポーツを「する」場の確保という効用だけでなく、例えば異なる世代の人たちが一緒にスポーツをすることで世代間の交流を深めたり、スポーツの指導を通して地域の大人たちと子どもたちを結びつけたりというように、地域のコミュニケーションの広がりや一体感の創出などコミュニティを再構築する重要な手段となると考えられる。

達成目標3. 多くの市民がホームタウンチームを応援しています。

■指標：町田市を本拠地とするホームタウンチームのホームゲームでの年間観戦者数

2012年度 90,280人 ⇒ 2018年度 17万人

図表2-3 ホームタウンチーム来場者数の推移

	2008	2009	2010	2011	2012	...	2018(目標)
FC町田ゼルビア	14,300	29,677	59,552	59,757	76,169	...	—
ASVペスカドーラ町田	10,767	16,070	12,479	12,197	14,111	...	—
キヤノンイーグルス						...	公式試合 誘致
合計	25,067	45,747	72,031	71,954	90,280	...	17万人

※ホームタウンチームとは、「市内を本拠地としてスポーツ関連活動を行う法人その他の団体のうち特定のスポーツ競技において国内における最高水準の組織に所属し、又は所属することが見込まれるものであって、市長の承認を受けたものをいう。」(町田市スポーツ推進条例第2条より)

※ホームゲーム開催時の座席数:FC 町田ゼルビア 10,332 席(陸上競技場)、ASVペスカドーラ町田 2,280 席(総合体育館)

※2012年ホームゲーム数:FC 町田ゼルビア 21 試合、ASVペスカドーラ町田 11 試合

※目標値の17万人は、FC町田ゼルビアが1試合平均観戦者数目標 7,000 人、年間 21 試合、ASVペスカドーラ町田が1試合平均観戦者数目標 1,500 人、年間 15 試合とし、その合計を基準に算出。

【指標及び目標値の考え方】

現在FC町田ゼルビア、ASVペスカドーラ町田、キヤノンイーグルスの3チームが町田市のホームタウンチームとして活動しています。

2008年度25,067人であったFC町田ゼルビア及びASVペスカドーラ町田の観戦者数は、両チームの活躍により2012年度には90,280人まで増加しました。本計画では振興計画の「2018年度に17万人」という数値目標を継承し、振興計画における取り組みを踏襲しつつも新たな施策を積極的に推進することにより、目標の達成を目指します。

なお、キヤノンイーグルスについては、ラグビートップリーグにおいてはホームアンドアウェイの考え方がないため数値目標には算入しませんが、公式試合の市内誘致を目指します。

【関連施策】

- 施策3 ホームタウンチームへの支援と協働
- 施策4 「トップスポーツ」の環境づくり